

みずほの教育

MIZUHO BOARD OF EDUCATION

令和4年(2022)6/1
第40号(年3回発行)
編集・発行:瑞穂町教育委員会
〒190-1292 瑞穂町大字箱根ヶ崎2335
TEL 042-557-6682 FAX 042-557-2693
<https://www.town.mizuho.tokyo.jp/kyoikuiikai/index.html>



人と人が かかわり合って 文化・教養をはぐくむまち みずほ

「図書館で謎を解け！」 を開催しました

図書館ファンクラブと図書館との共催で
ゴールデンウィークに小学生向けの謎解きイ
ベントを開催しました。参加者は167人
で、探偵になったつもりで新しくなった図書
館に関する謎を探りました。



【問合せ】図書館 ☎557-5614

みずほっ子目標

- み みずほを愛し 発展させるひと
- ず ずっと社会とかかわる 優しいひと
- ほ ほがらか 明るく 夢を語るひと

児童・生徒数(令和4年5月1日現在)

単位:人

一小	二小	三小	四小	五小	小学校計	瑞中	二中	中学校計	小・中学校合計
388	243	287	347	225	1,490	432	317	749	2,239

瑞穂町図書館がリニューアルオープンしました

令和元年度に着手した瑞穂町図書館改修事業が完了し、3月21日に記念式典が挙行されました。式典は感染防止策を徹底して行われ、ふれあいセンターで杉浦町長の挨拶の後、鳥海教育長から経過報告がありました。その後、来賓の祝辞と紹介があり、場所を図書館に移してテープカットが行われました。テープカットには令和3年度の瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクールで最優秀賞に選ばれた児童・生徒も参加しました。

式典翌日の3月22日から一般利用が始まり、オープン初日から多くの方にお越しいただいています。1日の来館者が300人を超える日もあり、改修前と比べて約2.5倍となっています。5月8日にはリニューアル後の来館者が1万人を超えました。来館される方も多様で、小さな子どもを連れた親子連れからお年寄りまで幅広い年齢層がそれぞれの目的に合わせて新たな施設を利用しています。利用の一例ですが、コーヒーを飲みながら明るいソファ席でゆっくり読書をする方、お気に入りのカウンター席でWi-Fi環境を利用しながら勉強や調べものに集中する方などの姿が見受けられます。更に施設がバリアフリー化されたことで車椅子やベビーカーでの利用も増えています。

ゴールデンウィークには、住民の有志で立ち上がった自主グループである「図書館ファンクラブ」の企画・運営で、小学生を対象とした謎解きイベントが開催されました。たくさんの小学生が図書館に足を運んでくれました。また、リニューアルを機に拡充したサービスの一つである本の宅配サービスも既に利用があります。身体的な理由等で図書館に来られない方にも本を届けられるよう、引き続き制度の周知を積極的に行っていきます。

新たな図書館は誰もが快適に過ごせる居心地が良い空間です。図書館職員一同、皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

【問合せ】 図書館 ☎557-5614



令和4年度 瑞穂町校内研究推進校研究課題一覧

学校名	校内研究主題
瑞穂第一小学校	正確に理解し主体的に読むことができる児童の育成 ～ICTを活用した文学的文章の学習を通して～
瑞穂第二小学校	進んでからだを育もうとする児童の育成 ～健康的な運動・生活習慣の形成と豊かな関わり合いのある授業づくりを通して～
瑞穂第三小学校	身に付けさせたい資質・能力を明確にした授業づくり ～ICTを活用した算数授業～
瑞穂第四小学校	主体的に学ぶ児童を育てる指導の工夫
瑞穂第五小学校	しっかりと自分の考えをもち、表現できる児童の育成
瑞穂中学校	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業展開の工夫
瑞穂第二中学校	カリキュラム・マネジメントの視点による教育活動の改善 ～ICTを用いて、生徒の学習意欲を高め、学力の向上を図る～

【問合せ】 教育指導課指導係 ☎557-6694

令和4年度の主な学校教育の施策について

町教育委員会では、第2次瑞穂町教育基本計画に基づき、児童・生徒の「生きる力」を育むため、学力向上施策やふるさと学習「みずほ学」のほか、様々な教育施策を学校と共に展開していきます。新型コロナウイルス感染防止のため、実施形態が変更になる可能性もありますが、ご協力よろしくお願いいたします。

○学習サポーターの配置

小学校入学段階で児童の規範意識の醸成や学習習慣の確立を図ります

小学校第1学年・第2学年の全学級等に「学習サポーター」を配置し、児童が小学校で学ぶ上で必要な力を身に付けるための支援をします。この学習サポーター制度は瑞穂町が続けている特徴ある取組です。自分で行えることは自分でしっかりとできるようにするため、生きる力の基礎を担任の先生と学習サポーターが協力して育てていきます。

○地域学校協働活動・放課後学習「学びのテーマパーク」

地域の方々と連携した放課後学習を実施します

全小・中学校で、家庭学習の一部を放課後の学校内（年間35回）で取り組み、児童・生徒の学習習慣の確立を通し、学力の向上を目指します。対象は、原則小学校第4学年以上と中学校第1・2学年生徒としています。

目標は、「1日1時間授業以外の学習に取り組む」習慣を身に付けることです。そのために、「学びのテーマパーク」以外の時にも、携帯電話・スマートフォンの長時間使用を抑制する「みずほストップ22・SNS東京ルール」に取り組むことや、家庭学習に取り組んでいるときに携帯電話・スマートフォンを見ながら学習しないことが大切です。

※昨年度行っていた中学校第3学年対象の進学に特化した講座は、モデル事業が終了したため今年度は実施しません。



○ふるさと学習「みずほ学」の推進

瑞穂の郷土愛に根差した、瑞穂の未来を「そぞう」する教育

平成29年度から全小・中学校で、児童・生徒が夢や希望をもって学習するため、瑞穂町に関するふるさと学習「みずほ学」に取り組んでいます。総合的な学習の時間などあらゆる教科等を通して学び、自然や文化を愛し、未来について考えをもって社会に貢献できる児童・生徒を育成します。また、株式会社IHIと連携した宇宙に関する学習を「そら学」として位置付け学習していきます。



○漢字・英語検定

漢字検定は小学校第3・5学年児童、英語検定は中学校第2学年生徒を対象に実施します。

○長期欠席児童・生徒への支援の充実

教育相談室専任相談員が家庭訪問し、心理的なケア等を行います。
適応指導教室「いぶき」で、様々な学習支援を実施し家庭に支援を結びます。

○日本語指導の充実

日本語を母語としない児童・生徒に対して専門の指導員を学校に派遣し、別室にて日本語指導を行い、言語による壁をなくし、安心して学校生活を送れるようにします。

【問合せ】教育指導課指導係 ☎557-6694

小・中学校の紹介

瑞穂第一小学校



校長 石坂 隆文



副校長 河村 康彦

教育目標

- 気づき考え、工夫する子
- なかよく力を合わせやりぬく子
- あかるく じょうぶな子

令和4年度、瑞穂第一小学校は、新1年生79名を迎え、全校児童388名で元気にスタートしました。本校は、今年度「開校120周年」になります。この記念すべき節目の年に、これまでの歴史を振り返り、関係の皆様へ感謝しますとともに、児童がたくさん輝くことで祝っていきたいと考えています。今年度も「児童が、笑顔で生き生きと過ごすことができる安心・安全な学校」を目指し、教職員一同一丸となって教育活動の充実に努めてまいります。

瑞穂第二小学校



校長 松山 大作



副校長 榎戸 記宏

教育目標

- 進んで学ぶ子
- 思いやりのある子
- 健康で明るい子

子供たち一人一人には、無限の可能性が秘められています。その可能性を信じる愛情の深さの分だけ、若き大樹は伸び伸びと、たくましく根を張り広げていくに違いありません。「教育」とは、共に学び、共に成長する「共育」であり、学校と家庭と地域とが、子供たちの未来のために協力して進みゆく「協育」です。コロナ禍というこの難局を皆様と手を取り合いながら、『輝く瞳・豊かな心・笑顔あふれる学校』を目指して参ります。よろしくお願いたします。

瑞穂第三小学校



校長 藤森 慎一



副校長 太田 誠

教育目標

- 進んで学ぶ子ども
- 思いやりのある子ども
- 明るく健康な子ども

37名の新生を迎え、287名でのスタートです。児童一人一人が「夢と希望にあふれ未来を築く三小の子」となれるよう、保護者、地域の皆様とのつながりを大事に共に歩みながら、「児童が生き生きと活動し、笑顔と活気があふれる学校」を目指します。教職員一人一人が自らの専門性、得意分野、個性を存分に発揮し、そして、ひとつになって教育活動を進めます。保護者、地域の皆様には、今年度ご支援とご協力をよろしくお願いたします。

瑞穂第四小学校



校長 高橋 一広



副校長 嶋田 豊

教育目標

- しっかり考える子
- 仲よくする子
- すすんで取り組む子

全校児童347名、12学級で令和4年度の教育活動がスタートしました。子供たちが幸せいっぱい笑顔で過ごせるために、「人と関わり合っていく中で心を通わせ、お互いを思いやること」「『～したい』という夢や希望をもち、それに向かって挑戦していくこと」「夢の実現のために、全ての人に感謝の気持ちをもつこと」を大切に、「心通わせ、夢を育み、感謝あふれる学校」を目指します。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いたします。

瑞穂第五小学校



校長 関根 孝之



副校長 豎山 かおり

教育目標

- 自ら学ぶ子 (知・体)
- 思いやりのある子 (徳)
- 最後までやりぬく子 (知・徳・体)

全校児童225名10学級でスタートしました。「元気いっぱい 笑顔あふれる みんなの学校」のスローガンの下「学力向上」「地域の中の学校」「健康安全」を重点に学校経営を行ってまいります。学力向上では、児童がしっかりと自分の考えをもち表現することができる授業を目指します。また、感染症予防に努めながら、外部講師等との連携した学習活動を増やしていきます。

保護者・地域の皆様のご支援・ご協力を、よろしくお願いいたします。

● 各校の所在地 ●

学校名	住所・電話番号
瑞穂第一小学校	瑞穂町大字箱根ヶ崎2287 ☎557-0045
瑞穂第二小学校	瑞穂町大字長岡長谷部250 ☎557-0646
瑞穂第三小学校	瑞穂町大字二本木670 ☎557-0266
瑞穂第四小学校	瑞穂町箱根ヶ崎西松原2-1 ☎557-4143
瑞穂第五小学校	瑞穂町大字殿ヶ谷1160 ☎556-1377
瑞穂中学校	瑞穂町大字石畑1961-1 ☎557-0070
瑞穂第二中学校	瑞穂町大字箱根ヶ崎1172 ☎557-5501

瑞穂中学校



校長 池谷 芳彦



副校長 中村 祐子

教育目標

- 心身ともに健やかな中学生
～持続可能な社会の形成者の育成を目指して～
- 自学 (自ら学ぶ)
 - 忠恕 (思いやる心)
 - 正義 (正しい行動)

本校の教育目標である「心身ともに健やかな中学生」を目指しながら、持続可能な社会の形成者となるよう、校訓として自学・忠恕・正義を掲げています。経営方針の中心に文武両道をすえ「わかる喜び・できる実感・学ぶ楽しさ」をモットーに生徒の学力向上を図ります。また、ふるさと学習「みずほ学」の中で『そら学』を推進します。全教職員で協力し合うチーム瑞中として、切磋琢磨していきます。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

瑞穂第二中学校



校長 吉田 周平



副校長 町井 豊

教育目標

- 人間性豊かな社会人をめざして
- 進んでよい友達になろう
 - 丈夫な身体をつくろう
 - 意欲をもって学習しよう

本年度、平成24年度に変更した教育目標を、開校当時の教育目標に戻し、生徒たちが生き生きと輝く、安全で安心できる学び舎となるように、全校生徒317人と教職員が「真心あふれる瑞穂二中」をスローガンにスタートしました。多様な生徒たちを誰一人取り残すことのない個別最適な学びの実現や、その学びを支える教育活動を全教職員一丸となって展開してまいります。保護者、地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

瑞穂町図書館

【問合せ】 ☎557-5614

○「第5回 瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール」のお知らせ

瑞穂町図書館では、自ら課題を見つけ、図書館資料を有効に使って調べ、作品としてまとめることで課題解決力を育成し、図書館の利用価値を学ぶことを目的に、令和4年度で5回目となる「瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール」を実施します。

作品の募集期間は9月1日から9月30日までとなり、学校を通じての応募や個人での応募も受け付けます。詳細は今後、瑞穂町図書館ホームページや広報みずほ等でお知らせします。

○瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクールの作品が見られます

瑞穂町図書館では、「瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール」の過去の最優秀作品や優秀作品をいつでも見られるように展示しています。ぜひご利用ください。



過去作品の展示コーナー

○蔵書点検に伴う休館と貸出点数について

6月13日から6月20日は、蔵書点検のため図書館と全ての地域図書室が休館となります。この期間は瑞穂町図書館ホームページからの蔵書検索、Web予約、再貸出もできなくなります。これに伴い5月31日から6月12日までの期間、貸出点数を10点から20点に増やしますので、ぜひご利用ください。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

スポーツ推進委員の紹介

各種スポーツ教室を実施するとともに、ニュースポーツの周知・普及を図り、町のスポーツ推進のため活動しています。

任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日

(敬称略)

役職	氏名
会長	西村 元
副会長	竹嶋 一茂
副会長	原 幸子
事務局長	石倉 礼一
委員	大屋 敬則
委員	川口由美子
委員	小山 恵子
委員	小山 希
委員	小山 宏
委員	櫻 あけみ
委員	田中亜津子
委員	田中 啓夫
委員	中井 明
委員	深堀 豪
委員	村田 憲一

【問合せ】 社会教育課 スポーツ推進係
☎557-7071

青少年委員の紹介

青少年に遊びの楽しさや創造の喜びを体験する場を提供し、青少年の健全育成に努めるとともに、子ども会の支援等の活動をしています。

任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日

(敬称略)

地区	氏名
殿ヶ谷	大久保寿江
	佐藤 照美
石畑	鈴木 房二
	中山 幸子
箱根ヶ崎	○菅野 俊也
	中野理貴子
	村野 重徳
長岡	笹井 鎮彦
	白石 渚
元狭山	大塚 幸子
	浜崎 崇
武蔵野	鈴木みゆき
	◎前田 哲宏

◎：委員長 ○：副委員長

【問合せ】 社会教育課 社会教育係
☎557-6695

瑞穂町郷土資料館 けやき館 企画展

【問合せ】 ☎568-0634

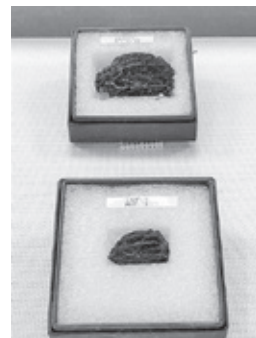
企画展「^{はる}遙か^{たいこ}太古の瑞穂」(4月9日から6月19日まで)

私たちの住む多摩地域は、今から約280万年前から50万年前にかけて堆積した地層(上総層群^{かずさそうぐん})を基盤としています。その時代、多摩地域は浅い海の底になったり川の河口になったりと地形的な変化を繰り返していました。そのため、陸と海それぞれで生活する生物がその時代の地層から発見されています。

企画展では、この時代の多摩地域に生息していたゾウやアシカなどの動物の化石や、狭山丘陵で発見された植物や貝の化石などを展示しています。また、より古い時代に生息していたアンモナイトや恐竜の化石を実際に触ることができるコーナーもあります。ご来館いただき、太古の多摩の風景をご体感ください。



ゾウの歯の化石



絶滅したクルミの仲間の化石

耕心館

【問合せ】 ☎568-1505

みずほ山野草ウィーク内企画展 染工房シゲタ草木染展 『いのちのかがやき』

3月19日から5月8日まで、耕心館では、「さやま花多来里の郷」や「みずほエコパーク」と協力し、お客様にそれぞれの場所で草花をご鑑賞いただく催しとして「山野草ウィーク」を開催しました。

この期間中、耕心館では檜原村で染め物を制作している繁田さん(染工房シゲタ)による草木染展を開催しました。繁田さんの耕心館での展示は今年で6回目となります。今年は『いのちのかがやき』をテーマに、作品を制作いただきました。耕心館エントランスの高い天井を支える太い梁から、桜・蓮・芍薬^{しやくやく}を型摺り^{かたす}した暖簾を吊り下げた作品や、命が継がれ繋がれ続いていく『無限』という作品は、大きさが数メートルにもなり、見る者を魅了する迫力がありました。

また、山野草やこいのぼりなどを染め上げた作品やお子様用のTシャツなど、小さくかわいらしい作品も数多く展示しました。今後も年間を通じて魅力ある企画を開催します。耕心館にどうぞお越しく下さい。



Tシャツ・こいのぼり他



作品名「芍薬・桜・蓮」



作品名「無限」

「東京狭山茶手もみ製法」が瑞穂町登録無形文化財に登録されました

令和4年2月、登録無形文化財として「東京狭山茶手もみ製法」が町の文化財に登録されました。狭山茶は茶の産地としては寒冷地に位置しており、生産される茶葉は温暖な地域のものより肉厚になります。この茶葉



東京狭山茶手もみ保存会の活動の様子

から製造される「手もみ茶」は、その手法が江戸末期に伝わり、関係者の手により今日に至るまで製法の改良が続けられてきました。「東京狭山茶手もみ保存会」は、この手もみ茶の製法の技術向上と保存・啓発のため組織された会です。令和4年4月に開催された瑞穂町登録文化財登録証・保持団体認定証交付式では、保存会関係者に、登録文化財登録証に加え、製茶技術の保持団体として、保持団体認定証が交付されました。

【問合せ】 けやき館 ☎568-0634

教育委員会委員談話

第27回：瑞穂町教育委員会 教育長職務代理者 関谷 忠

リニューアルオープンした瑞穂町図書館は、図書の配架方式を変え選びやすくなり、スロープなどもでき歩きやすくなり、誰もが行きたくなる、そんな図書館になりました。来館者が早くも一万人を超えました。コロナ禍の日々、先生やお友達との交流もままなりません。そんなときは、図書館に行き本を読むことをお勧めします。わたし

は永年、子ども向けの本を書いてきました。私の本を読んで、四国のある小学校から、クラスみんなの感想文が送られてきたことがありました。訪れたお隣の国、韓国の釜山市の書店で、翻訳されたわたしの本を見つけたこともありました。読書は想像力を育みます。他の人を思いやる心を育てます。こんな時代だからこそ、読書はぴったりの教育です。



教育委員会定例会・臨時会報告

前号でお知らせした以降、1月から4月まで定例会を4回、臨時会を2回開催しました。

<主な議案>

- ・令和3年度一般会計補正予算（第15号）の原案中教育に関する部分の意見聴取について
- ・令和4年度一般会計予算の原案中教育に関する部分の意見聴取について
- ・令和4年度瑞穂町立学校教育課程編成について
- ・瑞穂町登録無形文化財の登録及び文化財保持団体の認定について
- ・瑞穂町スクールソーシャルワーカー要綱
- ・瑞穂町図書館公衆無線LANサービス利用要綱
- ・瑞穂町教育相談室設置規則の一部を改正する規則
- ・瑞穂ビューパークの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則
- ・瑞穂町体育施設条例施行規則の一部を改正する規則
- ・瑞穂町体育施設等予約システムの運用及び利用者登録に関する規則の一部を改正する規則
- ・瑞穂町立学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則
- ・瑞穂町立学校教育支援補助員設置要綱の一部を改正する告示
- ・瑞穂町体育施設の使用及び申請に関する要綱の一部を改正する告示

- ・瑞穂町社会教育委員の委嘱について
- ・瑞穂町青少年委員の委嘱について
- ・瑞穂町スポーツ推進委員の委嘱について
- ・瑞穂町文化財保護審議会委員の委嘱について
- ・瑞穂町教育相談室専任相談員の任命について
- ・瑞穂町立小・中学校の管理職の任命に関する内申について

<主な協議事項>

- ・瑞穂町教育委員会の教育目標・基本方針及び令和4年度主要施策（案）について

<主な報告事項>

- ・瑞穂町教育委員会事務局職員の人事異動について
- ・令和3年度一般会計補正予算（第17号）の原案中教育に関する部分の意見聴取について
- ・令和3年度瑞穂町教育委員会後援名義について

教育委員会の会議は、毎月1回（原則として、第4木曜日）開催し、傍聴することができます（非公開の事項を除く）。

開催日時および会場は広報みずほに掲載されます。また、瑞穂町教育委員会ホームページから開催内容や過去の会議録を見ることができます。

【問合せ】 学校教育課庶務係 ☎557-6682

お詫びと訂正

みずほの教育第39号別刷り差込チラシ「令和3年度 全国学力・学習状況調査の瑞穂町の結果、分析及び方策等について II 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果（児童・生徒質問紙調査）について」において一部表記に誤りがありました。つきましては、お詫びするとともに下記のとおり訂正いたします。

【誤】

<小学校第6学年>

質問事項	選択肢（抜粋）	令和3年度 町	全国	国との差	令和元年度 町	短評
学校の授業以外に、普段、1日当たりどれくらいの間、勉強をしますか	3時間以上、2時間以上3時間より少ない	17.6	26.9	-9.3	28.5	1日あたりの勉強時間で、1時間未満の児童の割合が減少した。全国より、その割合は大きい。
	1時間以上2時間より少ない	28.1	35.6	-7.5	32.3	
	1時間未満、全くしない	54.3	37.5	16.8	39.3	

【正】

<小学校第6学年>

質問事項	選択肢（抜粋）	令和3年度 町	全国	国との差	令和元年度 町	短評
学校の授業以外に、普段、1日当たりどれくらいの間、勉強をしますか	3時間以上、2時間以上3時間より少ない	17.6	26.9	-9.3	28.5	1日あたりの勉強時間で、2時間以上の児童の割合が減少した。1時間未満の児童の割合が増加した。
	1時間以上2時間より少ない	28.1	35.6	-7.5	32.3	
	1時間未満、全くしない	54.3	37.5	16.8	39.3	

【問合せ】 教育指導課指導係 ☎557-6694

本紙に掲載している情報は、令和4年5月17日時点のものです。新型コロナウイルスの影響により、イベント等の予定が中止・変更となる場合があります。最新情報は、町ホームページなどをご覧ください。